

消防吏員用夏制服仕様書

(長袖上衣・半袖上衣・ズボン)

令和2年度

匝瑳市横芝光町消防組合

第1 総 則

1 目 的

本仕様書は、匝瑳市横芝光町消防組合（以下「当組合」という。）において購入する消防吏員用夏服について必要事項を定めることを目的とする。

2 条 件

この夏服は当組合吏員が着用する「制服」であること。

なお、夏服に使用する主材料及び付属品等は、着用に十分耐えられ、かつ、機能性のある優良な製品であること。

当夏服の製作に要する費用は、当初に契約した見積り額のとおりとし、追加支出は一切認めない。

従ってデザイン料その他については、疑問点が生じたときは、必ず担当者と綿密に打ち合わせするとともに、仕様書記載以外の縫製にあっても誠意をもってあたること。

使用素材はすべて良質なものを使用するものとし特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ、縺りムラなどの目立たないものを、また織り上がりは均整で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。

縫製については、各部の縫い合わせ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないように充分配慮し行わなければならない。

3 包装及び納品

製品の納入に際しては、一着ごとにプレスした後ビニール袋により包装すること。

4 見本の製作

業者は一週間以内に試作見本を提出し、担当職員の検査を受けなければならない。

なお、本製品は、見本の承認後とする。

5 出荷引受書の提出

紡績メーカーの出荷引受書と生地見本を契約後に提出すること。

6 その他

検収後であっても、生地、付属品及び寸法等縫製上の欠陥が認められたときは、受注者の責任とし、無償で修理又は交換すること。

受注者は、納入前に自主検査を行うとともに、品質管理の適正を図ること。

数 量	長袖上衣	73着
	半袖上衣	18着
	下 衣	91本

納入年月日 令和2年12月25日（金）

納入場所 千葉県匝瑳市八日市場ホ715番地

第2 縫製仕様書

1 材 料

(1) 生地一般

原糸は、糸ムラ、番手ムラ、撚りムラなど目立たない良質のものを使用する。

織り上がりは、均整で、織り傷、糸筋、汚れなどの品質を損なう欠点がないものとする。

(2) 表生地及び材料等

別紙（1）のとおり

2 形 状

(1) 上衣はシャツ型、台襟付シャツカラー、パネルフロント、後ヨーク、胸左右雨蓋付きアウトポケット、肩章付きとする。

(2) ズボンはツータック、裾シングル又はフリータイプ、両脇ポケット、尻左ポケットボタン止め、前ファスナー、腰裏滑り止め、後ろ左右しり片玉切り込みポケット付きとする。

3 縫 製

(1) 一 般

各部の縫製は、縫い目の飛び、はずれがない優良なものとする。

縫い代は、各部分に適した十分なものとする。

糸調子は、縫い目が均一で縫い曲がりが目立たないものとする。

縫い目数は、次の数値を標準とする。

地縫い運針数 1 2 針以上 / 3 cm間

飾りステッチ 1 2 針以上 / 3 cm間

飾りステッチ幅は、0.5 cm幅と端ミシンとする。

飾りステッチは、表ミシンとする。

ボタン穴は、ミシン穴かがりとする。

釦付けは機械付け又は手付けとし、手付けは2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻きは3回以上とする。

各部の合標、曲線縫いは、縫い合わせにずれがないようにする。

アイロン仕上げは、品質管理を損なわないようにする。

接着しんを使用する部分は、すべて高圧加熱式しん張りプレス機を用いて前面接着をする。

布目は、パターン指定どおりにする。

(2) 上 衣

ア 襟

上襟剣の長さは7 cmとし、幅は背中身で4.5 cmとする。

台襟幅は、背中心で3.5 cmとする。

台襟にて上襟を挟み縫いし、身頃に縫い付ける。

台襟下部は2条縫いとし、下部の1条は裏を落とす。

上襟の周囲には（下部を除く）、0.5 cmの飾りステッチをかける。

表襟はゆとりを持たせ、折り返しの厚みを引かれぬようにし、配色をすること。

上襟には、作りしんを使用する。

襟つりは、幅概ね 1.0 cmの共布又は織りテープとし、襟腰中央下端に挟み縫いする。

イ 肩縫い

ヨークで前身を挟み、端ミシンで縫いこむ。

ウ 肩章

しんを入れ周囲は地縫い返しし、0.5 cmの飾りステッチをかけ（袖付け部を除く）先端にボタン穴をかける。

寸法は、根本幅 5.0 cm・先幅 4.0 cmを基準とし、先端にて約 1.5 cmを槍で持ち出す。

肩章の先は、襟腰よりやや控える。

肩峰点より概ね 5.0 cmのところ、肩章と身頃を縫い止めし、袖付け部分はクロスに飾りステッチをかける。

エ 袖付け

インターロック又は地縫い裁き目オーバーロックかがりとする。

縫い代は身頃側に片倒しとし、0.5 cmの飾りステッチをかける。

オ 袖及びカフス

袖は1枚そでとし、袖縫いは身頃脇縫いと通し縫いする。

インターロック又は地縫い裁き目オーバーロックかがり（巻状で飾り縫いも可）とする。

長袖の袖口の剣ボロは身頃を挟み、端は二つ折りにして端飾りステッチを施す。

長袖の剣ボロは、上前幅 2.5 cm、丈 16.5 cm、下前幅 1.0 cmから 1.2 cm、丈 13.5 cm以上、開き 13.5 cmを目安とし、開き止まりは2条縫いとする。

長袖の剣ボロには、カフス根本より 5.5 cm上部にボタン穴をあけ、下ボロに付けた相方のボタンにて留められるようにする。

長袖のカフス付け部は 1.0 cmから 1.2 cmと端ミシンの2条縫いをする。

長袖の外側に深さ 1.5 cm（型紙数値）のヒダを2本取り、袖開きの方へ倒し、剣ボロの端とヒダの間隔は約 3.0 cmとする。

長袖のカフスの仕上り幅は、6.5 cm（±0.3 cm）とし、角は小丸に落とす。

長袖のカフスの上袖側にはボタン穴をあけ、下袖側にはレギュラーボタンとアジャストボタンの2個を付ける。

長袖のカフス周囲（付け部は除く。）は、0.5 cmの飾りステッチをかける。

半袖の袖口は 3.5 cm幅の表折り返しのカフスとし、袖口より 3.0 cmに飾りミシンをする。

カ 脇縫い

袖縫いと通し縫いし、インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりとする。

キ 胸ポケット

左右の胸の位置に、張り付けポケットを周囲端ミシンで縫着する。

ポケット寸法は、口幅 13.0 cm、内側深さ 14.0 cm、外側深さ 15.0 cmを目安とし、下角は、隅切りにする。

口布は 2.0 cm以上とし、裁き目は三つ折返しにして隠すか、オーバロックミシンかがりとする。

ポケット中央部に深さ 1.0 cmのオガミヒダを 2 本取り、0.5 cmの飾りステッチをかけ、ヒダは中央に向けて倒す。2 本のヒダ端は、綺麗に合わせるようにする。

ヒダの向布は、配色生地にて配色する。

口の両端は閉止め（ミシン閉コ型又は三角）とし、上部中央にボタンを付ける。

雨蓋はしんを入れて地縫い返しし、中央部にボタンを取り付け、雨蓋裏面中央部に面ファスナー凹凸を取り付け、切り返しはオーバロックがけとする。

雨蓋の寸法は、幅 14.0 cm、高さ中央 6.5 cm以下、両端 4.5 cm以下を目安とし、五角形の本罌型とする。

雨蓋の上端は身頃に縫い付け、折り返して、押さえミシンをかける。折り返し部分の端は、表に出ないようにする。

左ポケット雨蓋の内側より 1.5 cmに、口幅 3.0 cmのペン差しを付ける。

左ポケットの雨蓋を取り付ける際に、手帳止めループを挟み込んで付ける。

ク 前立て

パネルフロント仕立てとし、しん（共地芯も可）を入れ、両端に 0.5 cmの飾りステッチをかける。

上前にはボタン穴を 6 個あけ、下前にはボタンを 6 個取り付ける。

パネルの幅は、3.5 cm上がりとする。

ケ ヨーク

裏付きの二重仕立てとする。

ヨークの幅は、背中央で 7.0 cm上がりとする。

ヨークで後ろ身頃を挟み、0.5 cmの飾りステッチで縫う。

コ 背ヒダ

後ろ身頃中央に表箱ヒダを付ける。

ヒダの幅は 3.5 cmとする。

サ すそ

幅 0.3 cmから 0.6 cmの三巻縫いとする。

左右脇には、くりを入れた馬乗り付きとする。

シ エンブレム

左袖中央に横幅 8.5 cm、丈 10.0 cmの面ファスナー（メス）を縫い付けること。（肩の縫い目から約 40 mmの位置に縫い付ける。）

ス 階級章止め

右胸ポケット雨蓋から 1.0 cm上の位置に、階級章取付け用面ファスナー（凹面、表生地同色系）を縫い付ける。

寸法は、幅 2.5 cm、長さ 4.0 cmとする。

階級章は、アルミ蒸着ポリウレタンフィルム製のプリスト階級章を使用する。

セ 氏名札（片布）及びサイズ札

氏名札（片布）は下前裾の裏側に付ける。

サイズ札は襟腰下部に挟み込んで付ける。

ソ ネーム

着用時左胸ポケット中央上部に、氏名台座を取り付け、金茶色刺繍をする。

寸法は、幅 2.5 cm、長さ 4.0 cmとする。

(3) ズボン

ア 脇ポケット

斜めポケットを左右脇に各 1 個付ける。

口布は、表地を中心で 1.0 cm 以上折り返し、0.5 から 0.7 cm の飾りステッチを入れ、向当布は脇縫い目から表地を中心で 5.0 cm 以上とし、それぞれ袋地に縫い付ける。

口布、向当布とも端の裁き目はオーバーロックかがりするか、耳使い又は、折り返して処理をする。

口の下端は閉止めをし、ポケット袋は地縫い返しして飾りステッチをかけ、上端は表、裏とも必ず 1.0 cm 以上腰帯にかかるようにし、ポケット袋の縫い付けは可能な限り最後まで縫う。

右ポケットの袋内部に、幅 8.0 cm、深さ 6.0 cm と 11.0 cm を目安にした斜め口の忍びポケットを縫い付ける。

イ 尻ポケット

片玉縁作りとし、左右に各 1 個つける。（片玉縁作りミシン使用可）

ポケットは、腰帯下より 4.0 cm、口幅 14.0 cm、深さ 18.0 cm とする。

ポケット周囲は端ミシンをかけ、口の両端は閉止めをする。

向当布は幅 3.0 cm 以上とし、裁き目はオーバーロックかがりし、袋地に縫い付ける。

左のみ中央上部にボタン穴をかがり、向当布にボタンを縫い付ける。

ポケット袋は、地縫い返しして飾りステッチをかける。

ポケット袋の上端は、表裏とも必ず 1.0 cm 以上腰帯にかかるようにする。

ウ タック

タックは外向きに倒す。

前身頃センターに 1 本、その外側に 1 本のツータックとする。

エ 腰ダーツ

左右後ろ身頃の腰部にダーツ（尻癖）をとる。

左右各 2 本とする。

オ 天狗及び前立て

天狗はしんを入れ、裏と地縫い返しし、奥はオーバーロックかがりする。

天狗の鼻は島で持ち出すか剣型の「ち」をつけ、先端にボタン穴をかがる。

前立てにはしんを入れ、表裏を地縫い返しし、奥の裁き目はしんとともにオーバーロックかがりする。

前立て飾りは、幅 3.5 cm とする。

天狗、前立て上部に座金前かんを付ける。位置は、腰帯幅の中央にする。
前立てファスナー開き口下端に、天狗裏側から前立てとともに、冑を入れる。

カ ファスナー付け

天狗側は身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟み、縫い付ける。
前立て側は、前立て裏にファスナーの上端を二つ折りするか、腰帯の下に差し込み、耳は2条縫いで縫い付ける。

キ 脇縫い及び内股縫い

地縫い割りとし、二重縫い又は環縫いミシンとする。
裁き目は、オーバーロックかがりをする。

ク しり縫い

地縫い割りし、二重縫い又は環縫いミシンする。
上部の縫い代は2.0 cm以上とし、裁き目はオーバーロックかがりとする
棒シックは、またぐりにそって、ミシン縫いで表まで打ち抜く。(天狗からの続きシックも可)

ケ 腰裏

マーベルト、スレーキを使用し、前立て側両端はそれぞれ天狗と前立ての前かんの下まで入れる。

後部(しり縫い目)は縫い割りする。

コ 腰帯

腰帯は3.5 cmの腰帯付きとし、脇縫いの個所で、後ろ身側の腰帯下に前身側の腰帯が入るようにする。

腰帯内部に後身側から前身側及び前身側から後身側にそれぞれ伸縮テープ又はアジャスター方式を渡し、前身側と後身側が互いに引き合い腰廻りの伸張が左右ともに各2.5 cm以上出来るようにする。

サ バンド通し

バンド通しは、前身センター、脇縫い部、後身中程、尻縫いより1 cm離れた箇所に付けた8本付けとする。

ループは、折り返し、かがり部等が外れないように強固に作り、両端は端ミシン縫いし、幅0.8 から1.0 cm、使用部4.5 cmとする。

取付位置は、ズボン上端より目安として1.0 cm控え、上部は概ね0.5 cm浮かして付ける。

バンド通し付けは上・下部ともに強固に縫い付けること。

シ すそ

折り返し幅3.0 cm以上とし、裾上げをする。

裁き目は、オーバーロックかがりをするか、三つ折返しする。

ス 氏名札(片布)及びサイズ札

氏名札(片布)は袋地に付ける。

サイズ札はベルトループ下等に挟み込んで付ける。

4 品質表示

繊維製品品質表示に規程に定める方法等により氏名札の下部に印刷又は小片札にて表示する。

別表（1）

材 料 名	区 分		規 格	試 験 方 法	備 考
表 生 地	色 相	上 衣	ベタ無地トピ°カ色		
		下 衣	明るめの紺色		
	混 用 率		ウール 30% ポリエステル 70%		
	番 手	経	36 / 1 S		
		緯	36 / 1 S		
	密 度 (本/2.54 cm)	経	58 本以上		
		緯	48 本以上		
	質 量		165g/m ² 以上		
	引 渡 強 さ	経	780N 以上		
		緯	680N 以上		
	寸 法 変 化 率		経・緯共 ±1.5%以内		
	ピ リ ン グ		4 級以上		
	染 色 堅 牢 度	洗 濯	4 級以上		
		汗	4 級以上		
摩 擦		4 級以上			
耐 光		4 級以上			
組 織		平織り			
摩 擦 帯 電 電 気 荷 量		7 μ c / m ² 以下			
袋 地	組 織		綾織		
	色 相		黒色		
	混 紡 率		ポリエステル 60%以上 レーヨン 20%以上		
	密 度	経	3 1 0 本以上		
		緯	2 5 0 本以上		
	糸 使 い	経	3 0 / 1		
緯		3 0 / 1			
マーハルト滑 り止めテー プ	混 紡 率		ポリエステル、ポリウレタン、繊維		
	番 手	経	ポリエステル 2 0 0 D		
		緯	ポリエステル 2 0 0 D		
滑 り 止 め		ポリウレタン (オパロン) 2240D			

材 料 名	区	分	規	格	試 験 方 法	備 考
芯 地 ① 襟作り芯	ベ	ー	ス	組 織	平織り	
				混 紡 率	ポリエステル 65% 綿 35%	
				番 手	(経×緯) 23/2×23/2	
				密 度	経 48 本以上 緯 44 本以上 (2.5 cm間標準値)	
	補	強	組 織	平織り		
			混 紡 率	ポリエステル 65% 綿 35%		
			番 手	(経×緯) 23/1×23/1		
			密 度	経 60 本以上 緯 55 本以上 (2.5 cm間標準値)		
キ	ー	パ	ー	セルロイド製		
芯地②	組	織	平織り又は不織布			
	種	類	ポリエステル混紡			
	使 用 個 所	カフス、雨蓋、前立、肩章				
ボ タ ン	材	料	尿素樹脂			
	経	mm	13 mm及び 15 mm			
	使 用 個 所	13 mm (表地同系色) 上衣：前ボタン・肩章・袖口 胸ポケット 15 mm (表地同系色) ズボン：尻ポケット・天狗裏				
ファスナー	材 質 (む し)		ナイロン製			
	サ	イ	ズ	4号		
	色	相	紺又は黒			
	規	格	エフロン止め			
座金前か ん	素	材	真鍮製			
	色	相	シルバー又はガンメタ			
	型		# 2 4 7相当			
糸	地	縫	い	ポリエステル糸		
	飾	り	縫	い	ポリエステル糸	
	穴	か	が	り	ポリエステル糸	
面ファスナー	材	質	ナイロン製			
	規	格	ループ面			
	色	相	表地同系色			

別表（２）
出来上がり寸法
上 衣

単位：cm

首 廻 り	肩 幅	胸 囲	着 丈	半 袖 丈
35	42	94	76	25
36	43	98	78	25
37	44	102	78	25
38	45	106	80	25
39	46	110	80	25
40	47	114	82	25
41	48	118	82	25
42	48	120	82	25
43	50	122	82	25
44	50	124	82	26
45	51	127	85	26
46	51	130	85	26
47	52	135	85	26
48	52	135	85	26

下 衣

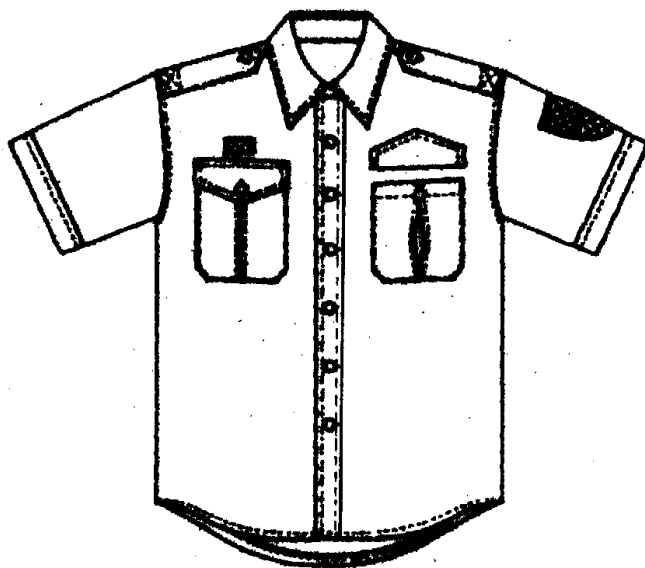
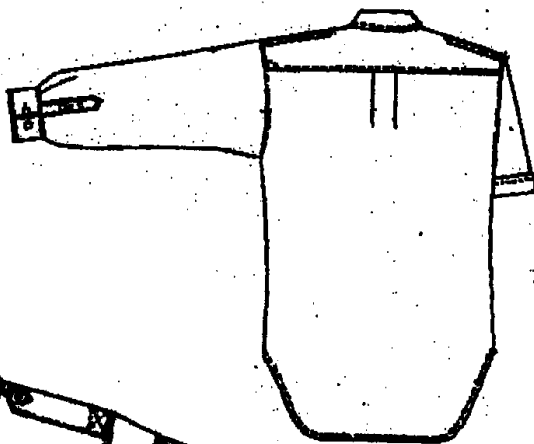
単位：cm

腰 囲	股上（ベルト下）	裾 口	股 下
73	21.5	23	74cm上がりを基準に偶数単位で股下の調整をする。
76	22.5	23	
79	22.5	24	
82	22.5	24	
85	23.5	24	
88	23.5	24	
91	23.5	25	
95	24.5	25	
100	24.5	25	

許容差

肩 幅	± 0.5 cm	腰 囲	± 1.0 cm
胸 囲	± 2.0 cm	股 下	± 1.0 cm
着 丈	± 1.0 cm		
袖 丈	± 0.5 cm		

別表 (3)
略 図 (上 衣)



略 図 (下 衣)

